

ラブクラブ ～私たちの活動日誌～

Vol.27 芝山短歌会

芝山短歌会は現在11名で活動しています。以前は先生をお招きし、ご指導をいただいておりますが、今ではおのおのが先生になり、知り得た事を話し合い、和気あいあいと勉強会を行っています。歌会は近作1首～2首を持ち寄り、氏名を伏せて批評をし合い楽しんでいきます。

行事としては、年に1回の吟行会や文化祭への作品出品などを行っています。私たちの会の歴史は長く、昭和54年に母親読書会のメンバーが成東方面へ郷土の歌人・伊藤左千夫の歌碑巡りをし、歌会を開いたのが発端です。

ありのまま、見たまま、思ったままをそのまま歌に表す写実が大事だと指導を受けてきました。私たちは自然の美しさに触れ、小さな虫にも愛を注ぎ、ひとひらの雲にも心を寄せ、三十一文字にまとめあげていきたいと思ひます。

私たちの会では会員を募集しています。心と脳の活性化を求め若さを取り戻し、一緒に楽しい短歌を作っていきましょう。



活動メモ

対象者/老若男女・年齢問わず短歌に興味のある人
町外在住でも構いません
活動日/毎月10日前後
奇数月:午後2時～4時
偶数月:午後7時～9時
活動場所/中央公民館
連絡先/大木 幸子 ☎77-0681

あとがき

◆一般には知られていませんが、全国の自治体広報紙が競い合う「全国広報コンクール」というものが毎年開催されています。このたび広報しほやま平成28年11月号が千葉県選出作品審査で広報の部(町村の部)最優秀作品に選ばれ、全国への切符を手にしました。◆過去には全国1席に輝いたこともある広報しほやまですが、私が広報担当になってからは、予選の千葉県選出作品にすら選ばれずじまいでした。今回選出されたのは、取材にご協力いただいている町民の皆さんのおかげだと思っています。ありがとございまして。◆全国でも入賞できるのかは分かりませんが、これからもより良い広報紙を作れるよう、精進していきたいと思ひます!

◆「つっほる雪まつりに行ってみたい」とは思っていたのですが、雪まつりが終わった一週間後に北海道に行ってきました。◆北海道の食べ物はいちいち格別、小樽で海鮮丼を食べて、そのお店のおじちゃんにおススメされてジンギスカンを食べに札幌へ。寒い雪道を迷いながら歩きました。そしてお店の看板を発見! やつと食べられると、ワクワクしながらお店に近づくと、人気店なのに人の気配がない? 入り口にはなんと「臨時休業」の文字が。ガツカリしながら仕方なく近くのジンギスカンのお店へ入りました。しかし、そのお肉は今まで食べた中で一番おいしいジンギスカンでした。まさに「つっほる」って感じでした。(羊だけに。)(笑)